

日本災害・防災考古学会

第3回総会・研究会 両日オンライン開催

2024年9月28日(土)・29日(日)

1日目「特集 令和6年能登半島地震と災害対応の実践」

2日目 災害・防災考古学に関する一般発表

※総会・研究会の参加には、当会への加入が必要です(裏面参照)。



HP QR



FaceBook QR

本会は、あらゆる自然災害や人為災害について、各分野の情報交換により、防災に寄与することを目的とする学会です。当会への入会・参加をお待ちしております。

写真：2024年3月18日撮影 石川県輪島市 朝市通り周辺火災跡

入会の御案内

当会の目的

本会は、地震・津波・火山ほかあらゆる自然災害ならびに火災・戦災など人為災害とそれに関連する諸現象・諸問題に関し、遺跡の発掘調査成果等を通してその実態を明らかにし、考古学および歴史学・理学・工学・防災科学ほか、研究の相互の情報交換により、今防災に寄与することを目的とする。（会則第2条）

加入資格

当会の趣旨に賛同される方は、どなたでも会員になることができます。

会費

無料です。ただし、研究会等開催の際には発表者から経費を徴収することがあります。

事業

本会は、次の事業を行います。

- (1) 研究会、講演会等
- (2) 会誌（ニュース・レター）ほか出版物の刊行
- (3) その他本会の目的達成に必要と認める事業

加入申し込み

- (1) 会員は、メールなどのネット環境が必要です。
- (2) 年会費はありません。
- (3) 「入会希望」と明記し、下記を記載の上、事務局までメール（j.saigai.net@gmail.com）にてお申し込みください。

1. 氏名
2. 所属
3. 住所
4. メールアドレス

第3回総会・研究会

9月28日（土）

11:00～12:00 総会

12:00～13:00 休憩

【研究会①】特集 令和6年能登半島地震と災害対応の実践

13:00～13:05 開会の挨拶

13:05～13:10 趣旨説明 相原 淳一

13:10～13:50 発表① 「能登半島地震に関わる石川考古学研究会の取り組み」 河村 好光

13:55～14:35 発表② 「令和6年能登半島地震津波堆積物の現地調査と珪藻分析
ー石川県能登町白丸地区・珠洲市飯田町採取試料からー」

野口 真利江、相原 淳一、吾妻 俊典

14:40～15:20 発表③ 「新潟平野における地震痕跡ー液状化跡を検出した遺跡の立地ー」
加藤 学

15:20～15:30 休憩

15:30～16:10 発表④ 「熊本城の被災と復旧・防災の取り組み」 嘉村 哲也

16:15～16:55 発表⑤ 「仙台城本丸石垣の地震被災と伝統的な土木技術」 金森 安孝

17:00～17:40 発表⑥ 「災害時の文化財保護」 渡辺 伸行

17:45～18:15 各発表者による意見交換（フリーディスカッション）

9月29日（日）

【研究会②】災害・防災考古学に関する一般発表

9:05～9:45 発表⑦ 「気候変動・自然災害から見た、北海道の原始・古代」 宮塚 義人

9:50～10:30 発表⑧ 「「弥生の小海退」を捉えなおすー氷河性海水準変動要因説の年代学的再検討ー」
久我谷 溪太

10:35～11:15 発表⑨ 「仙台平野における弥生津波伝承と古墳前期首長墳の築造位置」 斎野 裕彦

11:20～12:00 発表⑩ 「考古学からみた箱館戦争」 石井 淳平

12:00～13:00 休憩

13:00～13:40 発表⑪ 「大阪府北河内地域の災害痕跡・記録と『浸水日誌』」 實盛 良彦、田中 香里

13:45～14:25 発表⑫ 「新北上川河口低地における歴史時代の津波堆積物の探索」 菅原 大助

14:30～15:10 発表⑬ 「南太平洋島嶼域における古津波調査」

後藤 和久、James Goff、石澤 堯史、中田 光紀、笠井 克己

15:10～15:20 休憩

15:20～16:00 発表⑭ 「白頭山ミレニアム噴火が古代日本の歴史に与えた影響」 谷口 宏充

16:05～16:45 発表⑮ 「考古学見地から見た災害遺構の保全・活用の現状と課題」 林原 利明

16:50～16:55 閉会の挨拶

写真：2024年3月18日撮影 石川県輪島市 江尻漁港周辺の隆起